

## 名取市第六次長期総合計画(案)及び名取市第五次国土利用計画(案) パブリックコメントの実施結果及びその対応について

- 1 予告期間 10月 1日(火)から10月10日(木)
- 2 実施期間 10月11日(金)から10月31日(木)
- 3 計画閲覧方法 ①市HP ②政策企画課・市政情報課で閲覧・配布
- 4 パブリックコメントの内容と対応方針については下記のとおり

NO	地区	提出されたご意見	対応方針	計画への反映の有無
1	那智が丘	① 人間の安全保障と尊厳ある生き方を行政で追求することで元気を創造し、未来へつなぐ市民の心を研いでほしい。	基本計画(案)29頁の2-3-4において、「誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進」を主要施策に掲げ、各施策に取り組むこととしており、これにより、安心してその人らしい生活を送ることができるよう包括的に支援する「地域共生社会の実現」を目指してまいりたいと考えております。	無
2	閑上	② 市内の小学校や中学校の児童・生徒数に偏りが生じているため、学区再編が必要である。	通学区域は、学校・保護者・地域の各代表及び学識経験者で組織される「学校通学区域調査会」の意見を踏まえ、教育委員会が決定します。 現在の通学区域は市制施行時より行政区を基本としておりますが、60年が経ち、地理・交通等様々な面で市全体が発展・変容し、通学区域を取り巻く状況は編成当初より大きく変わってきております。このような変化により生じた課題に対し、通学区域の再編を求める市民・地域の方々の声が大きくなったときには、状況により市として検討が必要となることもあると考えています(要件・手続きについては特に定めておりません)。 一方で、行政区を基本とするこれまでの考え方も長年地域に根付いたものであり、それもまた尊重しなければならず、再編に当たっては市民・地域の方々の意見の吸い上げや合意形成など、慎重に進めていくべきものと捉えており、今の段階では、計画の修正までには至らないものと考えております。	無
		③ スポーツ分野として、名取市内には専用の競技場が少ない。近隣の市町村では、人工芝サッカーコートを整備し、子供達の成長に合わせた怪我の軽減に努めているが、十三塚公園内の芝生は剥げた状態で危険が伴うことから整備が必要である。	近隣の自治体において、人工芝のサッカーコートが整備されているところがあることについては承知しております。人工芝は維持管理という面で見れば、安価で済みますが、天然芝のほうが足元への負担も少ないと考えており、十三塚公園の市民陸上競技場については、令和元年度から天然芝の養生をして芝生が剥けている状態を補修しています。六長総でも引き続き、基本計画(案)65頁の4-5-2において、「市民にとって利用しやすい施設環境の維持」と表示しているとおり、十三塚公園を始め市内の体育施設の適切な維持管理に努めていきます。	無
		④ 中学校の陸上競技会は角田市での開催となっており、学校・選手はもとより応援に駆けつける親の負担にもなっている。公認の取れる陸上競技場の整備が必要である。	中学校の陸上競技会で公認をとる場合は、最低でも第3種公認競技場と言われる8レーンの競技場が必要となります。名取市には、十三塚公園の市民陸上競技場がありますが、現状6レーンしかないため公認を取るには、競技場の拡張が必要となります。しかし、敷地面積が狭隘であること、また、拡張には多額の費用が必要となります。新たな競技場の整備についても、拡張と同様に多額の費用が必要となることをご理解願います。	無